

進路指導部だより

令和7年10月20日 No. 3
東京都立村山特別支援学校
校長 阿部 智子
担当主幹 平本 智哉

「キャリア発達の視点に基づいた教育について」

～キャリア発達とは？～

子供の心と体は、発達の階段を一步一步上っていきながら成長していきます。そうした発達過程にある子供たち一人一人が、それぞれの段階に応じて、適切に自己と働くこととの関係付けを行い「自己の知的、身体的、情緒的、社会的な特徴を一人一人の生き方として統合していく過程」を「キャリア発達」といいます。

文部科学省「中学校・高等学校キャリア教育の手引き」（2023年3月）では、キャリア発達の視点に基づいた基礎的・汎用的能力を構成する四つの能力として

「人間関係形成・社会形成能力」

「自己理解・自己管理能力」

「課題対応能力」

「キャリアプランニング能力」

を掲げています。



引用文献 中央教育審議会（2011）今後の学校におけるキャリア教育職業教育の在り方について（答申）

キャリア教育といえども「インターンシップ」や「現場実習」などの学習を思い浮かべてしまいがちですが、そうした学習だけでなく日々取り組んでいる様々な学習もキャリア教育とも言えます。

例えば小学部段階から毎朝取り組んでいる日常生活の指導「朝の会・帰りの会」では、日直としてクラスの友達と発表をし合う中で、自分の名前を発表したり友達や教師の話を聞いたりすることがよくあります。こうした学習は「いろいろな人とコミュニケーションを高め、うまくやっていく力」⇒人間関係形成・社会形成能力に関する学習と大きく関わっています。

また、体育や保健体育で周回走に取り組む時には、現在の自分の到達点や目標などを決め、目標に向けて学習を重ねることで周回数が増えたり進む距離が長くなったりします。このような成長は「自分の力を認め、自分の力を磨いていく力」⇒自己理解・自己管理能力の向上につながっていると考えられます。



このように、様々な能力を学校教育全般のなかで総合的に高めることができるよう、子供たちの実態を把握した上で「育てたい力」として個別指導計画や学校生活支援シートなどに記載し、各学期の個人面談などを活用して保護者の皆様と情報を共有することを通して、放課後活動や家庭での取り組みと歩調を合わせられるよう、説明に努めています。

保護者の皆様におかれましては、今後とも進路に係る情報提供や意見交換・共有に向けて御理解と御協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。